

高脂血症治療薬・スタチンによる筋有害事象

スタチンによる筋有害事象には、検査異常を含む筋に関するあらゆる症状が含まれます。



スタチン服用による筋有害事象に関しては、10万例以上を解析した結果が「Annals of Internal Medicine」誌に掲載されています。

筋痛、ミオパチーが5,075例（4.71%）で、そのうち最も重篤とされる横紋筋融解症は7例（0.006%）、クレアチンキナーゼ（CK）上昇は992例（0.92%）。



その他の筋症状 2,742例（2.54%）には、筋のつり 882例（0.82%）、四肢の痛み 537例（0.50%）、関節痛 356例（0.33%）などが挙げられます。